

この講演を聞けば・・・ 自信を持って『夢』を語れます！

発明クラブから
本気で何かに
挑戦しようとする
あなたへ！

プレゼント
Present For you

入場無料

少年少女発明クラブ十周年記念事業

植松努講演会

写真提供・撮影：柳 智朗



植松努氏の参考動画

YouTube「TED×Sapporo」
再生回数 390 万回超

世界中に配信された「TED×Sapporo」での植松氏のスピーチは、世に感動の嵐を巻き起こし、YouTubeでの再生回数は390万回以上！その言葉一つひとつを、あなたも生で感じてみませんか！

講演会への参加方法は、裏面をチェック！

北海道の小さな町工場でロケット開発

令和元年 **12月14日(土)**

午後1時～3時

開場／午後12時15分

開演／午後1時

文化勤労会館 大ホール

この皆さんは、でっかい夢をもっています！

株式会社植松電機の皆さん

「あなたの夢は、何ですか？」

小学校の頃、私たちは無限の可能性を信じ、人前で自分の夢を語ることができました。

でも今は、口に出すことすら恥ずかしくてできません。なぜなら、夢を語ることで、周りから馬鹿にされるからです。夢が「高望み(たかのぞみ)」や「自惚れ(うぬぼれ)」だと笑われるからです。

植松努氏(株式会社植松電機代表取締役社長)は、北海道赤平市にある従業員 20 名ほどの小さな町工場で2004年から宇宙ロケット開発に取り組み、わずか3年でその夢を実現させました。しかも、一切の公的支援も受けず、なんと自費で。その事実は「NASA より宇宙に近い町工場」とも称されました。

では、なぜ植松氏は、仕事とは別の宇宙ロケット開発にチャレンジしたのか！

また、どうしてそれを実現することができたのか！

その理由には、ある『言葉』が隠されていました。

その言葉とは・・・『どうせ無理！』

『どうせ無理』という言葉は、一瞬にして人間の自信や可能性を奪ってしまう恐ろしい言葉です。

植松氏は、この言葉は「殺人」にも値すると言われます。なぜなら、幼少の頃からロケットを作ることを夢みていた植松氏も、親や学校の先生など多くの大人達から、この言葉を突きつけられ、その恐ろしさを感じていたからです。

そこで、植松氏は、大きな夢を持つ若者や今もなお夢を諦めきれない大人達から、更にはこの世から『どうせ無理』という言葉無くすため、子供の頃からの夢でもあるロケット開発に取り組み、成功することで、その言葉の無意味さを証明しました。

植松氏は言います。『どうせ無理だ』といって自分の努力を放棄した人たちが、

努力する人を妬み、他の人の自信を奪い、努力を否定して闇に突き落とす、と・・・。

本講演を聞くことで、**今まで恥ずかしくて言葉にできなかった夢を、自信をもって公言できるようになると私は思います。**

人生の再スタートは、何歳からでもできます。大きな夢を持つ皆さん、そして長きに渡り夢を捨てきれないでいる皆さん、ぜひ植松氏の講演をお聴きください。

少年少女発明クラブ事務局 水野

申込み方法

「植松努講演会」への参加を希望される方は、下記 QR コードまたは北名古屋市少年少女発明クラブホームページからお申込みください。

なお、多くの希望者が予想されることから、「参加対象」および「申込定員」を下記のとおり制限させていただきましたので、ご了承ください。

◆ 参加対象

- ・令和元年度のクラブ員およびその家族
- ・本クラブの卒業生およびその家族、友人
- ・本クラブへの寄付者の皆さま

◆ 申込定員

- ・1～2名

◆ 申込先



スマホ・タブレットの方は、コチラ



◆ 申込期限 令和元年9月30日(月)まで



パソコンの方は、コチラ

ホームページ

<http://kitanagoya-hatsumei.jp/>

北名古屋市少年少女発明クラブ

検索

スマホ・タブレットからはこちら▶

【問合せ先】 少年少女発明クラブ事務局(生涯学習課内)

電話 0568-22-1111 内線3221

メール shogai@city.kitanagoya.lg.jp

